【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2006-130789(P2006-130789A)
【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)
【年通号数】公開・登録公報2006-020
【出願番号】特願2004-322576(P2004-322576)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/42　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/42　Ｚ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月20日(2006.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】
前記記録位置の下流側で前記記録シートを挟持搬送する第２ローラ対を更に有し、前記記録シートは前記第１ローラ対及び／或は第２ローラ対により挟持されて搬送されることを特徴とする請求項７に記載の記録装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１１】
前記第１ローラ対の前記上流側で前記記録シートの後端を検知する検知工程と、
前記検知工程で前記記録シートの後端が検知された後、前記記録シートの後端が前記第１ローラ対のニップ部を離れる時点まで前記第１ローラ対を回転駆動した駆動用モータの駆動状態を検出するエンコーダセンサの出力値をメモリに記憶する記憶工程とを更に有し、
前記搬送駆動制御工程では、前記検知工程での前記記録シートの後端の検知から前記メモリに記憶されている前記出力値に基づいて、前記記録シートの後端が前記第１ローラ対のニップ部を離れた時点を検出することを特徴とする請求項７乃至１０のいずれか１項に記載の記録装置の制御方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
前記検知工程で前記記録シートの後端が検知された後、前記記録シートの後端が前記第１ローラ対のニップ部を離れる時点は、前記駆動用モータの定速駆動時におけるモータ駆動信号の変動に基づいて検知されることを特徴とする請求項１１に記載の記録装置の制

御方法。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
前記検知工程での検知後、前記記録ヘッドによる記録方式を変更する記録制御工程を更に有することを特徴とする請求項７乃至１２のいずれか１項に記載の記録装置の制御方法。